

# (社) 長野県作業療法士会 第 207 回 運営会議議事録

平成 23 年 12 月 9 日 (金) 19:30~24:00

(於) 豊科事務所

出席者: 青木, 宮永, 中澤, 勝野, 伝田, 横前, 小林, 宮脇, 熊谷, 松下, 矢崎, 山田, 松井, 佐藤, 藤村, 竹内, 野口

委任状: 坂口, 花岡

欠席者: 野頭, 大月

## I. [報告事項]

### ・理事会報告

会長: 市民公開講座の目的について, 教育的趣旨なのか広報的な趣旨なのかを明確にすべきとの指摘を受けた。各理事には講座毎となるかもしれないが, 目的を明確にして実施することをお伝えした。士会表彰については, 施行細則第 45 条 (1) に則した年齢規定に沿って選出するべきとの指摘を受けた。

### ・(社) 長野県作業療法士会 第 14 回総会 (臨時) 開催の報告

会長: 県の担当者より第 13 回総会での定款変更は承認定数が満たないという指摘を受けた。また, 実際に新定款も若干の変更が必要となったため, 12 月 22 日 (木) 19:30~ 安曇総合病院で臨時総会開催する事とした。一般法人移行を平成 24 年 4 月 1 日にするためにご協力をお願いする。なお, 住所地を安曇野市から上田市とし, 代表名 (青木会長名) を記載したことが前回提案からの変更点である。

### ・部局・委員会報告

#### 1. 事務局

**受領文書** (H23.10.1~H23.11.30 )

2011/10/04	J A I C A ボランティア平成 2 3 年度秋募集広告へのご協力のお祝い (J A I C A)
2011/10/07	第 17 回全国の集い in しんしゅう 2011 後援の御礼 (第 17 回全国の集い in しんしゅう 2011)
2011/10/11	関東・甲信越地域リウマチの治療とケア研修会申込について (日本リウマチ財団)
2011/10/11	雑誌新聞総カタログ「メディア・データ」未収録媒体記入用紙の送付 (メディア・リサーチ・センター株式会社)
2011/10/11	定数未満の際の代議員推薦候補について (日本作業療法士協会)
2011/10/11	介護予防・日常生活支援総合事業の基本的事項について (長野県健康福祉部健康長寿課長)
2011/10/12	役員改選のあいさつ (茨城県作業療法士会)
2011/10/13	日本 AKA 医学会理学・作業療法士会主催 第 19 回関東甲信越ブロック AKA 博田法 紹介コースの案内 (恵信甲府病院 井村順治氏)
2011/10/13	「第 9 回ながの こども療育用具・福祉機器展」ながのハートフルフェスタ」お知らせ (長野県理学療法士会)
2011/11/01	2012 年「新春特集号」広告協賛のお祝い (医療タイムス社)
2011/11/01	「アシスティブ・プロダクツ VOL.5」の送付 (テクノエイド協会)
2011/11/04	役員改選のお知らせ (宮城県作業療法士会)
2011/11/04	会長年頭ごあいさつご寄稿のお祝い (医療タイムス社)
2011/11/14	代議員推薦候補の擁立について (日本作業療法士協会)
2011/11/14	役員改選のお知らせ (埼玉県作業療法士会)
2011/11/14	役員名簿の送付 (岩手県作業療法士会)
2011/11/14	平成 23 年度「公開セミナー」の後援について (長野県介護福祉会)
2011/11/14	第 14 回群馬県作業療法士学会のお知らせ (第 14 回群馬県作業療法士学会)

ニュース関連: 全国保険医新聞、長野県保険医新聞、長野社会福祉会ニュース、月刊きょうされん TOMO、ながのきょうされんニュース、長野支部ニュース、長野県言語聴覚士会、日本作業療法協会

県士会報: 東京都、神奈川県、宮崎県、京都府、群馬県、山口県、石川県、奈良県、香川県、高知県、大阪府、北海道、福島県、山形県、秋田県、愛知県、福岡県、沖縄県、島根県、広島県、新潟県

**発送文書** (H23.10.1~H23.11.30)

2011/10/05	協会表彰 候補者推薦の件 (富士見総合病院 矢崎氏)
2011/10/10	県士会 表彰の件資料郵送 (青木朗氏 宮永茂行氏 野頭利幸氏 中澤真由美氏)

2011/10/18	平成 23 年度 第 21 回理事会案内送付 (外部理事)
2011/10/31	2012 年新春特集号広告協賛の送付 (医療タイムス社)
2011/11/04	医療タイムス社会長年頭あいさつ寄稿の件 (青木朗氏)
2011/11/07	登記事項証明書の送付 (山田利彦氏)
2011/11/10	受講証明書の送付 (老人保健施設 山望苑 事務長)
2011/11/14	三役会議資料, 昨年学会抄録の送付 (野頭利幸氏)
2011/11/15	代議員推薦候補届の送付 (とちぎリハビリテーションセンター相談支援部 伊藤貴子氏)

## 会員動向 (H23.10.1~H23.11.30)

【入会申請者】: 3 名

得年月日	氏名	協会番号	所属	出身養成校	取
	太田和宏		輝山会記念病院	昭和大学医療福祉短期大学	2001
	田口敬治		輝山会記念病院	サンビレッジ国際医療福祉専門学校	2011
	鈴木紀子		長野県立こころの医療センター駒ヶ根	信州大学	2010

【変更申請者】: 13 名

### 職場内異動

相沢 志保: 相沢訪問看護ステーションひまわり→相澤通所リハビリテーション塩尻

### 勤務先変更

納村 美奈子: 飯田市療育センターひまわり→竹重病院  
 百瀬 綾香: 介護老人保健施設ロングライフ塩尻→自宅  
 深町 泰子: 佐久総合病院→自宅  
 藤林 麻衣子: 朝日病院→自宅

### 氏名 住所変更

田島 麻奈美: (改姓: 田島→大橋, 住所変更)  
 湯本 正美: (改姓: 湯本→荒井)  
 中西 靖世: 住所変更  
 黒岩 みゆき: 郵便物を職場から自宅住所へ変更  
 太田 祥子: (改姓: 太田→塚原, 住所変更)  
 芳澤 友里: (改姓: 芳澤→小泉, 住所変更)  
 井口 歩: 住所変更  
 渋谷見 由加里: 住所変更  
 深町 泰子: (改姓: 深町→渡邊, 住所変更)

【休会申請者】: 3 名

渋谷見 由加里: 育児のため  
 小林 あす香: 産休・育児のため  
 西 麻郁: 育児のため

【退会申請者】: 3 名

山口 真理子: 県外転出のため  
 神戸 優: 作業療法士以外の業務に専念したため  
 荒木 泰子: 県外に転出するため

【復会申請者】: 0 名 (H23. 4. 1 より)

H23. 11. 30 現在

正会員数: 1001 名 (休会者は除く)

23 年度入会申請者 : のべ 101 名 (うち今回 3 名)

休会者数: 40 名

23 年度休会申請者 : のべ 7 名 (うち今回 3 名)

退会者数: 7 名

23 年度退会申請者 : のべ 10 名 (うち今回 3 名)

復会者数：10名

23年度復会申請中：のべ1名

(うち今回0名)

賛助会員：9社

会長：休会者について

定款 第7条「正会員は総会において別に定める入会金および会費を納入するものとする」

施行細則 第6条「休会中は非会員扱いとし、会費納入は免除される」と規定されており、正会員数から除く。

山田：定款の細則変更を検討していく。

## 2. 財務部

伝田：決算書作成は会計士と相談しながら行うようにする。

## 3. 広報部

平成23年度 “ふれあい祭り” 振り返り

### \*脳年齢測定体験：163名参加

1. 客寄せにはなった
2. 参加者から「これは何のためにやるのか」という質問、それに対し脳の関係から作業療法的な説明をすることができた。
3. 作業療法との関連性、説明しづらい。紙面での簡単なパンフレットを作成・配布すればよかった。
4. 予想以上の集客に並び待ち状態に。それがかえって客寄せにもなったようだ。
5. 昨年と比べ、大人の体験者多かった。題材が大人にも関心得られやすかった。
6. “脳年齢”という言葉に対し、反応はおおよそ2パターン。抵抗示す方にも、

### \*ペダル踏み間違い模擬体験：36名参加

1. 子供の場合、机が背丈にあっておらず、操作上難あった。
2. ごく一般の人たちに関心をもってもらうことができ、呼び込めた。
3. 体験者に説明できる資料を作り、配布できたのはよかった。後からしっかりと読んでもらうこともできる。

### \*認知症パンフレット配布者数：10名

1. 長野市医師会で認知症に関する市民公開講座を行っており、そこに集まった人が多く、同じテーマのこちらのブースで説明を受けたいという人がいなかった。

### \*全体の感想

1. 掲示用パネルを展示しており、立ち止まって見ていく方が結構いた。ブースの中に入るのには抵抗あっても、気楽に眺めていけるので、一般の方に作業療法を説明するのに役立った。
2. 看板の見やすく大きくしたので、通りがかる人に注目されていた。

## 4. 渉外部

## 5. 福利部

## 6. 学術部

## 7. 教育部

技術研修会の報告

現職者選択研修の報告

平成24年度 春の研修会の報告（研修会長野口より）

会長：総会の出席率を勘案して午前中の研修から続けて総会を行うことにした。

熊谷：予算計画は平成23年度を基に作成をお願いしたが、参加者人数で変更があるかもしれない。

平成24年度 秋の研修会の報告及び検討

佐藤：すべての判断を運営会議に委ねるのではなく、実行委員会で原案を決定した上で報告して頂きたい。

## 8. 事業部

こども福祉機器展の報告

## 9. 地区部

## 10. 委員会

\*規約委員会

\*表彰委員会

#### \*公益法人移行準備委員会

##### 法人認可申請状況の報告

山田：県から指摘された点の修正と、新定款の承認を受けて、1月の初めに申請する予定。2月又は3月の審議会を通れば、4月1日に登記し、一般法人への移行が終了する。

#### \*調査委員会

##### 11月13日第3回委員会開催

- ・今年度予定した調査終了し、現在まとめの段階。今年度中に結果を配布予定。
- ・OTが勤務していない施設に対して実施した調査については、協力施設に結果を報告する。
- ・老年期分野での会員の意識調査については、学会の分科会で結果を参考にしたいという希望があり、学会担当者へ情報提供した。
- ・来年度の診療報酬ダブル改訂についての調査は、改訂後の様子について予備調査を実施し、調査内容を検討してから本調査を実施する予定。

#### \*選挙管理委員会

#### \*設立30周年記念実行委員会

##### 30周年記念事業の報告

佐藤：欠席者への記念品の発送が終了次第、会計報告を行う。参加者は290名で士会員の約2割程度であった。

来賓24名（2名は突然キャンセルになった）。礼状の発送は終了した。

会長：ホームページに「式典終了のご挨拶」を掲載したほうがいいのではないか。

佐藤：「OTながの」にご挨拶の寄稿を予定していたが、これからだと3月発行の号への掲載となるため、ホームページに掲載する。

#### 11. その他

- ・第28回長野県作業療法学術大会の準備状況報告（事務局より）

佐藤：物品貸出し一覧がある方がいい。

山田：資産管理と備品管理の方法を検討していく。

- ・第29回長野県作業療法学術大会の準備状況報告（学会長 竹内晴美）

①日時：平成25年3月2日～3日（土・日）

②場所：ホクト文化ホール（中ホール）を検討している。

③テーマ：未来につなげ！作業療法

作業療法が過去から現在、未来へと発展し繋がっていくこと、これからも作業療法士がその対象である患者さんや利用者さんと繋がっていくこと、そして作業療法士同士も繋がっていくことができるよう。との思いを込めた。

④内容：

1) 特別講演：作業療法5カ年計画の総括と今後の方向について（仮題）

講師：OT協会役員（未定）

2) シンポジウム：県内の医療・介護保険制度同時改訂後の動向について（仮題）

シンポジスト：県内の医療機関や介護保険サービス提供施設のOT（未定）

3) 一般演題：口述発表、ポスター発表

4) 企画展示：

県内の作業療法士が勤務する施設について、提供しているサービス内容をマップで展示する。

→調査委員会の調査を活用させて頂いたり、事務局会員管理担当や地区理事にも協力を依頼していきたい

5) 機器展示：県内の業者に依頼する

6) その他：書籍販売、懇親会、託児など

⑤その他：

ながのコンベンションビューロに相談しながら、助成金を活用していくことも考えている。

竹内：平成20年の調査内容を調査資料として活用することは出来ないか。

会長：再調査が必要。再調査したものは学会でも利用していくために、学会と県士会の連名で行う。学会役員だけでなく支部長に協力をして頂く。ホームページ上での公開も考えて行く。

宮脇：一般演題については第28回学会と同様に査読者を立てた方がよい。

竹内：査読は行う。査読者の選定についてはご協力頂きたい。

松井：市民公開講座はないのか。

竹内：企画展示を市民に公開する場と考えている

## Ⅱ [協議事項]

### ・来年度運営方針の提案

会長：組織を軌道に乗せる。市民公開講座の再編をする。

### ・平成24年度事業計画・予算案の提案，協議事項について

#### 1. 事務局

- ①会議の開催と議事録の作成
  - a. 総会：年1回（平成24年6月）
  - b. 理事会：年7回
  - c. PT/OT/ST 連絡協議会
  - d. 外部評価会議
- ②総会議案書の作成と発送
- ③対外的な窓口業務
  - a. 受領文書および発送文書の処理
  - b. 外部からの問い合わせに関する案内と業務の調整
- ④公文書の管理および在庫書籍・印刷物の管理
- ⑤事務所・アルバイト事務員の管理・運営

法人管理運営委員会

士会報担当委員会

- ①上伊那生協病院に委員会をおいて活動
- ②「OTながの」を年6回奇数月に発行する

Web 担当委員会

- ①サーバー・サイトの管理と月2回程度の定期更新
- ②アンケート調査結果に基づき年1回のサイトの大幅更新
- ③現ドメインの管理と or.jp ドメインの取得
- ④デジタルコンテンツの管理保護とアーカイブ化
- ⑤ITにおける著作権や個人情報に関する調査と啓蒙
- ⑥サイト上での一般県民にたいしてのOTと県士会の広報

記録担当委員会

各支部

- ①部内の関連団体との情報交換
- ②支部内の情報収集と発信
  - a. 新入・転入出会員の調査
  - b. 各支部連絡網の作成
- ③支部作業療法士連絡会・学習会の企画開催協力
- ④県士会事業への協力・調整
  - ・各支部での取り組み
    - a. 北信支部 第29回県士会学会開催協力（H25年3月）  
4月：新年度北信地区運営会議  
7月：北信地区新人歓迎交流会  
10月：PT・OT・ST 懇親会
    - b. 東信支部 第30回県士会学会開催協力（H26年3月）  
第51回県士会研修会長推薦協力，開催協力（11月）
    - c. 中信支部 第50回県士会研修会開催協力（6月）  
第31回県士会学会会長推薦協力
    - d. 南信支部  
< 諏訪地区 >

- ・諏訪地区PT OT ST交流会
- ・研修会及び懇親会の開催 日程：平成24年11月ごろ
- ・諏訪地区勉強会・研修会活動への協力

< 上伊那地区 >

- ・上伊那リハビリテーション症例検討会への協力
- ・上伊那PT・OT・ST交流会開催を計画

< 下伊那地区 >

- ・飯伊PT・OT・ST連絡協議会への協力
- ・学習会および懇親会 平成23年6月頃予定 下半期にも実施予定
- ・飯伊地区OT勉強会への協力

⑤公的機関各種委員会等への委員推薦

⑥会員所属施設のメールアドレス活用の検討

勝野：士会報担当委員会、Web担当委員会、各支部が事務局へ移行となる。

記録担当は記録を保管管理する係になる。

## 2. 会員管理部 (部長未定)

- ①入会金・会費の管理
- ②会員の管理(入退会・休会等)と名簿の作成
- ③自動退会処理
- ④領収証の発行
- ⑤(社)日本作業療法士協会会員管理システムへの参画

## 3. 財務部

- ①当期予算の収支管理
- ②当期中間報告書・決算書の決算手続き、計算書類の作成
- ③当期決算報告と会計監査手続き
- ④次期予算案の作成
- ⑤税金の処理、管理
- ⑥県士会資産管理
- ⑦各部・委員会会計担当者への会計処理指導(4月)
- ⑧公益法人移行に伴い、財務諸表の変更等学習を進めていく。

## 4. 広報部

### 事業計画

#### 1. 作業療法啓発活動

- ①高校生を対象とした作業療法の説明会(長野市内、5月中旬を予定)
- ②「第31回ながのふるさとまつり」での一般の方々への啓発  
来年の長野市で開催されるアビリンピックと併催も検討中。
- ③作業療法ニュースレター(仮称)の作成、配布。

#### 2. その他の広報活動として

- ①「ながのふるさとまつり」と類似したイベントのリサーチ

会長：ニュースレターは広報誌として一般向けに発行する予定。OTながのは議事録などが入るので広報誌と言えない。

横前：ニュースレターは広く作業療法士の紹介をしていくもので、高校などに置いてもらう事を検討している。

佐藤：発行頻度は決まっているか。

横前：発行頻度と内容に関しては検討中である。

会長：OTながのよりは“質”の高いものにしていきたい。

### 協議事項

1. サイト上の求人広告について(Web委員会より)：掲載ルールが不明確。即時性を考慮したルールが必要。
  2. 求人広告に関して(士会報担当委員より)：現在はニードがあり、継続としたい。
  3. 広告そのものについて(広報部より)：広告の目的を明確にする必要があるのではないか。ルール作りが必要。
- \*今回は時間の都合で簡単な報告のみとなる(→継続審議)

## 5. 渉外部

- ①行政機関からの情報収集と会員への紹介
- ②外部団体との情報交換および連絡・調整
- ③関連他団体事業への協力と啓発活動の推進
- ④障がい者の医療・保健・福祉施策への提言
- ⑤栄村大震災支援活動の継続
- ⑥災害支援体制・マニュアルの整備
- ⑦その他
  - a. 外部団体からの要請と対応事例の記録
  - b. 関連他団体事業の後援依頼について、リスト作成と後援基準の策定

## 6. 福利部

会長：医療保険委員会と介護保険委員会を立ち上げる。大改訂があるので調査部と連携をとって頂きたい。

## 7. 学術研修部

- ①第 29 回長野県作業療法学術大会の企画・運営への協力、助言
- ②研究発表に関する講習会の開催
- ③第 50 回・51 回 長野県作業療法士研修会の開催
- ④部内委員会の事業
  - 1) 学術誌編集委員会
    - ・長野県作業療法士会学術誌第 30 巻の編集・発行
    - ・メディカルオンラインへの学術誌第 30 巻登録
  - 2) 訪問リハビリテーション委員会
    - ・日本作業療法士協会と連携しての訪問リハビリテーションに関する情報収集
    - ・長野県理学療法士会及び言語聴覚士会と連携し、訪問リハビリテーションへの長野県作業療法士の資質向上を図る（信州訪問リハビリテーションネットワークへの協力）
    - ・訪問リハビリテーションに関する研修会の企画・開催への協力
  - 3) 技術研修会運営委員会
    - ・技術研修会の開催
    - ・技術研修会の企画・運営

## 8. 教育部

技術研修会報告

現職者選択研修会報告

平成 24 年度 春の研修会の進捗状況報告

〃 秋の研修会の進捗状況報告

## 9. 事業部

松下：市民公開講座は土曜日午後に無料で開催する。テキストは無料で良いか。

会長：テキストの無料化は難しい。テキストを作成するなら、有料販売を前提としていただきたい。また、公開講座の参加とは分けて考え、参加者に購入義務などはない方が良いと思う。

## 10. 調査部

- ①調査の実施

平成 24 年診療報酬ダブル改定に関わる調査（予備調査を経て本調査を実施）

- ②調査の準備検討

会員動向調査に関する準備

会長：学会とも情報交換して進めて欲しい。

## 11. 委員会

\*表彰委員会

会長：協会表彰受賞者一覧を作成して欲しい。県士会表彰の基準を満たす人を報告して欲しい。

＊選挙管理委員会

役員選挙について

藤村：必要に応じて選挙を行っていく。

山田：臨時総会承認後に公示する。

藤村：投票用紙をダウンロードする方法はどうか。

会長：今後検討していく。（→継続審議）。

＊規約委員会

12. その他

・臨時総会について：12月22日19:30□ 安曇総合病院で開催する。出席，委任状出席を呼び掛ける。

・訪問リハビリテーションネットワークについて

来年度の事業計画について

来年度の後援費の増額について

熊谷：研修会費（2日間で1,000円）は安すぎる。他の研修会とのバランスを考えるべき。

小林：三士会（PT,OT,ST）からの補助金については改めて検討が必要ではないか。

会長：訪問リハネットワークの支援については、本会の当初の考えに立ち返って対応していく。今回の報告・要望については、①研修会費については本会会員が納得できる額に設定していただけるように再検討していただきたいこと、②本会会員の参加費は、会員参加費としていただくこと、③後援費については前年度実績および事業計画、本会の予算計画を勘案して設定させていただくこと、④ネットワーク世話人は本会からの派遣であるため、交通費などは基準に従って本会会計から支出すること、を訪問リハネットワークに伝える。

・予算案について

伝田財務部長：今後40周年に向けての積立金が必要である。

Ⅲ. [その他]

今後の会議日程

年月日		時間	会議名	会場
平成23年	12月22日	19:30～21:00	第14回総会（臨時総会）	安曇総合病院
平成24年	1月14日	14:00～16:00	第208回運営会議	豊科事務所
	2月5日	10:00～12:00	第22回理事会	ホテルサンルート長野東口
	3月3日 4日	12:30～16:40 9:10～16:20	第28回長野県作業療法学会	下諏訪総合文化センター
	3月3日	10:00～12:00	第209回運営会議	下諏訪総合文化センター
	3月4日	11:45～12:55	第15回総会（予算総会）	下諏訪総合文化センター

議事録署名

印

印